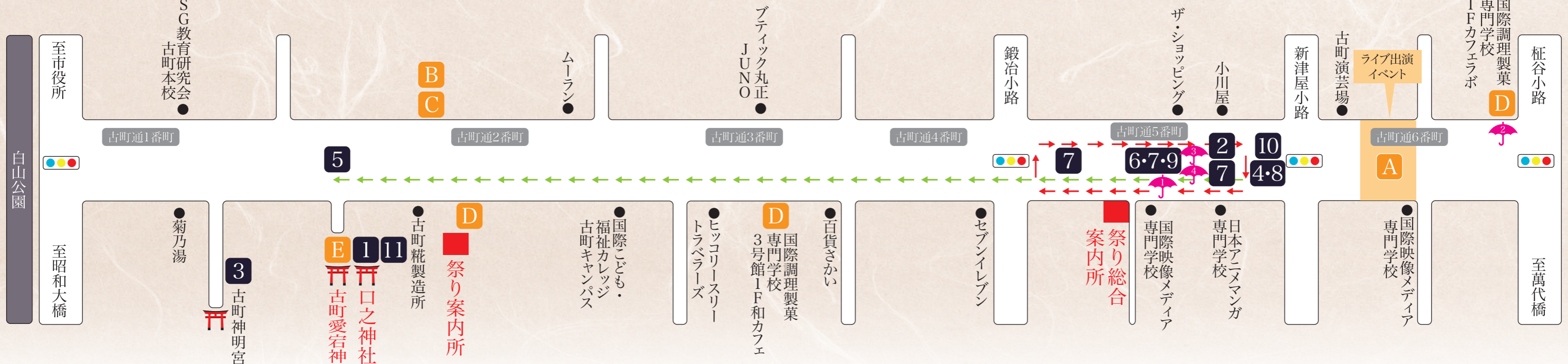
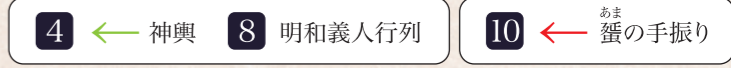


# 明和義人祭

2024年 8月24日(土) 10:00~

会場/古町通1番町~古町通6番町、古町愛宕神社・口之神社

※交通規制 ● 13:00~20:30(古町通1番町~2番町)※雨天対応時は解除 ● 13:15~14:45/17:30~18:30(古町通3番町~4番町/神輿及び行列通過時のみ)※雨天対応時は解除 ● 9:00~12:00(古町通5番町~6番町)



※お祭り当日はテレビ中継を行う予定です。予めご了承ください。 ※熱中症対策の水分補給は十分に行ってください。 ※古町商店街は、手作りの商品や特産品など地域の魅力を感じるお店が集まっておりますので是非お立ち寄りください。

## 明るく体験

- A 大正琴** (古町通6番町) 12:30~13:00  
ライブ出演イベント (古町通6番町) 13:00~17:00  
「琴源と大正琴新潟友の会」有志による大正琴の演奏から始まり国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校生徒による多種多様な音楽をお楽しみいただけます。
- B 撮影スタジオ** (古町通2番町) 11:00~17:00 (雨天時:古町通5番町)  
「明和騒動」の舞台となった、現在の新潟古町。江戸時代(明和)の新潟湊まちを体感いただく撮影スポットです。
- C 子ども遊び** (古町通2番町) 11:00~17:00 (雨天時:中止)  
お子様向けイベント。「輪投げ」「お菓子すくい」「射的」(予定)が一回100円で楽しめます。参加賞もあります。
- D 縁日・飲食屋台・お弁当販売** (古町通2番町:縁日・飲食屋台) (古町通3,6番町:お弁当販売) 11:30~19:00 (雨天時:古町通6番町のみ)  
飲食屋台コーナーは、古町2番町にて美味しいフード・夏にぴったりの各種ドリンクなどの販売、古町3・6番町の国際調理製菓専門学校の校舎1階ではテイクアウト販売、縁日コーナーでは、明和義人祭グッズを各種販売しております。どうぞご利用ください。
- E 明和灯ろう** (愛宕神社) 11:00~19:45 (雨天時:中止)  
明和義人の偉業を称え、愛宕神社境内に灯ろうを設置します。お祭りらしき溢れる写真スポットです。



## 和やかに観覧

- 1 採火式** (口之神社) 10:00~10:20  
明和義人の主人公である、涌井藤四郎、岩船屋佐次兵衛、芸妓のお雪さんの御三方の御霊をお招きし、ご神燈を点火します。
- 2 御霊おこし** (古町通5番町:小川屋前あたり) 11:00~11:20  
涌井藤四郎、岩船屋佐次兵衛を中心とする人々は、「明和義人」として崇められ、古町愛宕神社境内社の口之神社にお祀りしてあります。その方たちの魂を神輿に宿しお祭りにお迎えする儀式となっています。最後まで無事にお祭りが行われるよう見守っていただきます。
- 3 奉納 万代太鼓** (古町2番町:神明宮拝殿) 11:30~12:00 (雨天時:古町通5番町)  
白山小学校の子供たちが披露してくれます。
- 4 神輿** (古町通5番町⇒口之神社) 13:30~14:30 (雨天時:古町通5番町)  
浅草や鹿兒島の祭りを渡り歩いた神輿が、義人の魂を載せ、古町通を練り歩きます。
- 5 奉納 古町芸妓舞** (古町2番町:愛宕神社参道前) 15:40~16:00 (雨天時:古町通5番町)  
200年の伝統を誇る新潟古町芸妓は、新潟を代表する文化のひとつです。普段見られない芸妓さんの華麗な舞をご覧いただけます。
- 6 神楽舞** (古町通5番町:i-MEDIA実習棟前) 16:45~17:00  
伝統芸能の神楽舞。五穀豊穡の神、大黒様が打ち出の小槌を振って清められたお菓子は神菓(しんか)になります。



- 7 明和神菓まき** (古町通5番町 3カ所) 17:00~17:15  
餅まきのお餅をお菓子に見立て、参拝者へ撒き振舞うことで、無病息災や家内安全を願う「幸せの御裾分け」を意味しています。当時冷害で御米がとれず町人たちが苦労していたことにちなみ、「食への感謝」も込めて3ヶ所にて神菓まきを行います。
- 8 明和義人行列** (古町通5番町⇒口之神社) 17:40~18:30 (雨天時:古町通5番町のみ)  
町民を救おうと立ち上がり、活躍した義人の方たちの誇るべき歴史をいつまでも忘れないために。そして後世に伝えるために。当時の江戸時代に見立てて町を練り歩きます。今年はいよいよ一層、町内を盛り上げていこうという想いで神輿を担ぎます。
- 9 樽きぬた** (古町通5番町) 18:50~19:00  
その昔、漁師町であった新潟では、嵐に遭遇した船乗り達が竜神に助けを求め、祈りながら船底を叩き続けたことが、祭りに取り入れられて「樽きぬた」に変わっていったと言われていました。永島流一門によるきぬたの演奏をお楽しみください。
- 10 蟹の手振り** (古町通5番町) 19:00~19:30  
「蟹の手振り」とは、初代新潟町奉行の川村修就が当時の新潟の代表的な風景を描かせた風俗絵巻物で、当時の人々が樽きぬたの演奏にあわせて自由に踊りを楽しんでいる様子が描かれています。現代に蘇った「蟹の手振り」は古町商店街が自由に踊る人々で賑わいます。
- 11 御霊返し** (口之神社) 19:30~19:45  
義人の魂を見送る儀式となっています。もともと神を迎え、願い事をするといった行為自体は太古からの人類の営みでした。特に、十分な食べ物を確保すること・病気にかからないことが二大祈願でした。町民を救おうと立ち上がり活躍した彼らを無事に見送り、今後の町の安泰と弥栄を祈願します。

